

パンセの木 Pensee Tree

最適解を求めて その1

一昨日は都心で28度になり真夏を体感しましたが、ちょうどひと月前東京埼玉で雪が積もったことが信じられない気持ちになります。自然のリズムと体のリズムの調和がなかなかうまくとれないそんな感想がつのる昨今です。

先週の休日に、久しぶりに新緑と澄んだ風を感じたいと思い、秩父のひと駅で降りて気ままに午後の時間を過ごしました。

溪流に下りて手足を洗い戻ってくる小さな神社が待っていてくれました。裏手に小さな祠(ほこら)が祀(まつ)ってあって、地元の人の手で掃除され白い花が供えてありました。狭い境内は、クリやカシなどの数本の老樹が陰を落としていて、小さな混合樹林の一部をなしています。半世紀前はこうした混合樹林が辺り一面に広がり太平洋戦争後に次々に伐採されていったのだろう。数年前に同じ場所から見た目の前の山々はまだらに杉が植林され、無惨な印象でした。それがいま新たな広葉樹が植林されて明るい緑の勢いが山頂を目指して登りつつあります。

帰りの電車の中でわたくしは、いま日本の自然も日本人の自然観も変わりつつあるかもしれないという思いにと

らわれていました。

自然もその一部である人間も、人間の一世代位の短い時間の尺度で見れば、急激な変化を好まない保守性を持っています。長い時間で見ると確実に変化(進化)しています。

環境保護、自然保護という意識は、人間は自然の一部であり人間と自然はともども一緒に変わっていくものだという自明の意識に立脚していなければならないはずです。人間が自分たちの都合に合わせて改変した環境は維持発展させ続け、都会から離れた所にある自然は元の状態を保っていてほしいと願うのはムシノイ話です。

この稿次号につづきます。 塾長 押

パンセ個別指導学院
発行所：埼玉県所沢市西所沢1-12-4-5F
TEL：04-2925-7560
E-mail: support@pensee.gr.jp
URL: http://www.pensee.gr.jp

パンセのホームページ
<http://www.pensee.gr.jp>

- [トップ] ごあいさつ・パンセカレンダー等
- [入会案内] パンセの新しいパンセパンフレット
- [教室案内] 西所沢教室・中新井教室・たかの台教室
- [テキスト案内] テキスト紹介・教務方針・テキストの使い方
- [充実情報]

2010年夏期カウンセリング開始!

英語学習アドバイザー

生徒のみなさんには、写真撮影にご協力いただいたり、2月に開催しました「パンセK3グランプリ」という計算力の大会でインタビュアさせていただったりしました。

ご協力ありがとうございました。写真などに関しまして、ご遠慮なくご意見をいただければと思います。これからも更新などにご協力をいただくことがあるかもしれませんが、よろしくお願ひ申し上げます。

パンセサポートセンター

夏期カウンセリングでは現在の学習状況とこれからの指針をはっきりとさせ、今後の具体的なカリキュラムを決める機会となります。

生徒のみなさん、7月から2ヶ月間の予定や目標は決まりましたか。

目標はどのような内容でも、自分にとっての時間を大切に過ごせるようにじっくり考えておきましょう。

学習の計画を進めるための最適なスケジュールになるように、時間の使い方を改めるチャンスになる人もいるかもしれませんね。

パンセテキストとは?
P-TEXT

英語のへみかわかんテキスト

パンセでは、一つひとつのことから正確に理解できるように、飛躍のないテキスト作りをしたいと考えています。昨年度製本するに至りました、中学英語の文法書を例にとってその研究の一端をお知らせしたいと思います。

このテキストは、日本語と英語の文法の違いをはっきりと意識して理解してもらおう設問に絞っています。たとえば、「I am Taro.」否定文と疑問文に書き換えなさい」というように、日本語と対応させることで英文を成り立たせているしくみを理解してもらおうとしています。このような設問自体は普通であるかもしれませんが、作成の意図を一貫させていることが他にはない特徴となっております、これを使った最初の授業では、生徒は驚きの表情で帰ることが多いのです。

私たちは、日本語のしくみ(文法)を意識しなくても日本語を話せます。しかし、外国語を学習する場合も文法を意識しないではいられないでしょうか。

多くの英文に触れるうちに自然に英語を習得することができるという考えに基づいて、たくさんさんの英文や会話に触れていくことが重視されます。それは、英語について学ぶのではなく英語を覚えることに重心を置いた学習方法と言えます。しかし、適当な日本語訳(意識)にばかり触れていると、次第に本来の英文の構造が分からなくなる状態に陥ることがあります。そのよう

な場合、そのような学習を続けるのが正しい行き方なのか疑問があります。

実際には、高校生の終わりの頃に、「中学の英語から学び直したい」とパンセにやって来る生徒が多いのです。無理な詰め込み学習を続けていると、最終的に大きな壁に突き当たります。このような場合は、日本語との違いを理解する学習に戻ることになります。

結論としては、急がばまわれ、コツコツと英語というものを理解しながら英語に慣れることをお勧めします。

文法書でもあるこのパンセテキストを使えば、ゆつくりと山登りをするように英語のしくみを見つめながら確実に英語力を伸ばすことができます。

このテキストをあせらずじっくりと学習することで、正しく文章を読み書きできるようなするための最短ルートを進むことができます。 パンセ教務部

編集後記

前号は、たくさんさんの合格体験記を掲載することができました。それを読んだ塾生のみなさんはまたそこに何かを学ぶことができたでしょう。

第7号は、パンセのホームページをご利用いただく機会に合わせまして、パンセについてのご理解を深めていただくような内容にいたしました。

パンセではみなさんの学習の目的や学習方法に合わせたカリキュラムづくりをし、この夏がみなさんにとって最高の時間になるように応援したいと思います。